

常務理事会議事要旨

(令和8年度第1回)

日 時：令和8年4月7日（火）午後1時40分～4時35分

場 所：日薬第二会議室

出席者：岩月会長。森、渡邊、原口、荻野、川上各副会長。上野専務理事。豊見、富永、橋場、長津、山田（卓）、堀越、川名、村杉、山田（武）、田中、白滝各常務理事。

I. 協 議

1. 確認事項

- (1) 会務報告（令和8年3月）
- (2) 外部審議会委員等推薦の件
- (3) 外部会合等出席者の件
- (4) 本会後援名義等使用の件
- (5) 講師等派遣の件
- (6) 取材依頼の件
- (7) 編集依頼の件
- (8) 監修依頼の件

2. 協議事項

- (1) 中道改革連合・公明党・立憲民主党合同厚生労働部会「健康保険法等の一部を改正する法律案」に関するヒアリングの件
- (2) 薬価基準収載品目の件
- (3) 日薬誌企画の件
- (4) ラジオ NIKKEI「薬学の時間」日薬アワー企画の件
- (5) 日薬ブロック会議に関する件
- (6) 令和9年度予算・税制改正等要望事項の件
- (7) 第59回日薬学術大会「一般演題優秀賞審査委員会」委員（案）の件
- (8) 第107回臨時総会における要望事項の件
- (9) 第108回定時総会対応の件
- (10) 令和8年度第1回理事会に関する件
- (11) 第60回日薬学術大会（福島大会）のメインテーマに関する件
- (12) その他
 - 1) 調剤システム処方 I F 共有仕様（NSIPS）仕様書の改版に関する件
 - 2) 令和8年度学校薬剤師ブロック連絡会議に関する件
 - 3) 職域部会幹事変更の件

4) 「ふあるみん」 着ぐるみ利用規約等の一部改正の件

II. 報告

1. 議事録

- (1) 令和7年度第40回常務理事会 (R8. 3. 24)
- (2) 令和7年度第7回理事会 (R8. 3. 27)

2. 諸通知

- (1) 新たな地域医療構想に関する取りまとめについて (R8. 03. 24)
- (2) 疑義解釈資料の送付について (その1) (R8. 03. 24)
- (3) 新医薬品等の再審査結果 令和7年度 (その9) について (R8. 03. 24)
- (4) 新型コロナウイルス感染症患者等の公費支援に係る取扱いについて (周知)
(R8. 03. 25)
- (5) 「登録販売者に対する研修の実施要領」の一部改正について (R8. 03. 25)
- (6) 医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律第二条第十五項に規定する指定薬物及び同法第七十六条の四に規定する医療等の用途を定める省令の一部改正について (R8. 03. 25)
- (7) 第59回日本薬剤師会学術大会における試験検査センター等による会員研究発表について (R8. 03. 25)
- (8) マイナ資格確認アプリにおけるスマートフォンのマイナ保険証の読み取り機能の追加について (周知) (R8. 03. 25)
- (9) マイナ保険証の円滑な利用に向けた対応について (周知) (R8. 03. 25)
- (10) 医薬品医療機器等法上の効能・効果等の変更に伴う留意事項の一部改正等について (R8. 03. 26)
- (11) 「医療法等の一部を改正する法律の一部の施行に伴う厚生労働省関係省令の整備等に関する省令」の公布等について (R8. 03. 26)
- (12) 指定訪問看護事業者における医薬品の取扱いについて (情報提供) (R8. 03. 26)
- (13) 「医療法施行規則の一部を改正する省令の公布等について」等について (R8. 03. 26)
- (14) 令和7年度医療機関等における医薬品安全性情報の入手・伝達・活用状況等に関する調査結果報告書及び「望まれる方向」の公表について (R8. 03. 26)
- (15) 電子処方箋システムの必要最小限の基本機能の更新について (R8. 03. 27)
- (16) 薬局DX基盤サービス「N-Bridge」の公式Webサイト更新及び申込開始予定について (R8. 03. 27)
- (17) 医療事故情報収集等事業第84回報告書の公表について (R8. 03. 27)
- (18) 第16回産科医療補償制度再発防止に関する報告書の公表について (R8. 03. 27)
- (19) 第107回臨時総会について (ご報告) (R8. 03. 30)
- (20) 第40期 (令和8・9年度) 代議員選挙・補欠の代議員選挙結果の告示について (R8. 03. 31)

- (21) 地域で協働して作成する推奨薬リスト（地域フォーミュラリ）について（周知）
（R8. 03. 31）
- (22) 「緊急避妊薬を調剤・販売する薬剤師及び販売する薬局・店舗販売業の店舗について」の一部改正について（R8. 03. 31）
- (23) 母子保健法施行規則の一部を改正する内閣府令の公布について（R8. 03. 31）
- (24) 令和 8 年度日本薬剤師会有功賞（個人）の授賞について（R8. 04. 01）
- (25) 令和 8 年度日本薬剤師会賞、同功労賞並びに同有功賞（団体）の推薦方依頼について（R8. 04. 01）
- (26) 第 84 回国際薬剤師・薬学連合国際会議（FIP2026）開催のご案内及び参加意向アンケートへのご協力をお願い（R8. 04. 01）
- (27) 医療法等の一部を改正する法律の一部の施行等について（オンライン診療関係）
（R8. 04. 01）
- (28) 医療法施行令等の一部を改正する政令及び医療法等の一部を改正する法律の一部の施行に伴う厚生労働省関係省令の整備に関する省令等の公布について
（R8. 04. 01）
- (29) 医療広告規制におけるウェブサイト等の事例解説書（第 6 版）について（R8. 04. 01）
- (30) 医業若しくは歯科医業又は病院若しくは診療所に関する広告等に関する指針の一部改正について（R8. 04. 01）
- (31) 疑義解釈資料の送付について（その 2）（R8. 04. 01）
- (32) 「医業若しくは歯科医業又は病院若しくは診療所に関する広告等に関する指針（医療広告ガイドライン）に関する Q&A について」の改訂について（R8. 04. 01）
- (33) 病院等における医療の安全を確保するための措置について（R8. 04. 01）
- (34) 医療法施行規則の一部を改正する省令の施行に伴う留意事項等について
（R8. 04. 01）
- (35) 長期収載品の処方等又は調剤に係る選定療養の対象医薬品について（R8. 04. 01）
- (36) 製薬企業による飲食提供に関するルールの改定について（情報提供）（R8. 04. 02）
- (37) 「「医療機関において調剤される PET 検査薬等の取扱いについて」の一部改正について」及び医療法施行規則の一部を改正する省令の公布に伴う「関係学会等が作成するガイドライン」の遵守について（R8. 04. 02）
- (38) 電子処方箋管理サービスにおける処方箋等の提供に関する情報の送付方法及び電子カルテ情報共有サービスにおける電子診療録等情報の提供等に関する情報の送付方法等について（通知）（R8. 04. 02）
- (39) 医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律施行規則の一部を改正する省令の施行等について（R8. 04. 02）
- (40) 研究用と称する検査キット等の体外診断用医薬品の範囲に関するガイドラインについて（R8. 04. 03）

- (41) 医薬品安定供給・流通確認システムの稼働開始について (R8. 04. 03)
- (42) 「医療・介護関係事業者における個人情報の適切な取扱いのためのガイダンス」の一部改正について (通知) (R8. 04. 03)
- (43) 「「医療・介護関係事業者における個人情報の適切な取扱いのためのガイダンス」に関する Q&A (事例集)」の一部改正について (R8. 04. 03)
- (44) 健康被害救済制度における給付金額の改正について (R8. 04. 03)
- (45) 「オンライン診療の適切な実施に関する指針」の改訂及び「「オンライン診療の適切な実施に関する指針」に関する Q&A」の改訂について (R8. 04. 06)
- (46) 「薬剤師国家試験のあり方に関する基本方針」について (R8. 04. 06)
- (47) 動物用医薬品及び医薬品の使用の規制に関する省令の一部を改正する省令の制定について (R8. 04. 06)
- (48) リソカブタゲン マラルユーセルの最適使用推進ガイドラインの一部改正について (R8. 04. 06)

3. 委員会等議事要旨

- (1) 学校薬剤師部会 (R8. 2. 16)
- (2) 薬価基準検討会 (R8. 3. 3)

4. 報告事項

- (1) 薬局・薬剤師の機能強化等に関する検討会について
- (2) 医療機器の流通改善に関する懇談会について
- (3) 薬事審議会 医薬品等安全対策部会安全対策調査会について
- (4) 「薬剤師国家試験制度について新たな基本方針」について
- (5) その他
 - 1) 日本スポーツフェアネス推進機構 公認スポーツファーマシスト認定制度 カリキュラム委員会について
 - 2) 第 111 回薬剤師国家試験結果について
 - 3) 国際交流プログラム FAPA2026 派遣者の決定について
 - 4) 厚生労働省人事異動について
 - 5) 文部科学省人事異動について
 - 6) 令和 8 年度の日薬会議日程について
 - 7) 日薬事務局体制について
 - 8) 健康・医療・介護情報利活用検討会 医療等情報利活用ワーキンググループ 医療機関における運用に関する技術作業班について
 - 9) 医療安全全国共同行動理事会について
 - 10) 医療機関等における医療機器及び医療物資等の供給に関する情報提供窓口の設置について

要 旨

議 題

I. 協 議

1. 確認事項

(1) 会務報告（令和8年3月）

上野専務理事より、令和8年3月分の会務報告について、訂正等ある場合は事務局に申し出るよう要請された。

(2) 外部審議会委員等推薦の件

以下のとおりとされた。1)厚生労働省「薬局製剤指針に関する検討連絡会議」構成員：山田（卓）常務理事、東洋輝武本会薬局製剤・漢方薬委員会委員長、生出拓郎同委員、2)薬学教育協議会「病院・薬局実務実習中央調整機構委員会」委員：渡邊副会長及び長津常務理事、3)同「認定実務実習指導薬剤師認定委員会」委員：長津常務理事及び小林理事、4)同「実務実習ガイドライン改訂ワーキンググループ」委員：小黒理事、5)同「WEBシステム検討委員会」委員：小黒理事、6)薬学教育評価機構「総合評価評議会評議員」：渡邊副会長及び長津常務理事、7)同「基準・要綱検討委員会」委員：豊見常務理事、8)日本薬剤師研修センター・小児薬物療法専門薬剤師制度設立準備委員会委員：川名常務理事、9)同・研修認定制度委員会委員：山田（武）常務理事、10)くすりの適正使用協議会理事候補者：原口副会長、11)厚生労働省保健医療福祉調整本部支援チーム構成員：山田（卓）常務理事、12)厚生労働省「医療機関・薬局間における情報の共有・標準化等に関する検討会」構成員：原口副会長、13)日本学校保健会「自信をもって取り組める医薬品の教育」改訂委員会委員：西前多香哉学校薬剤師部会幹事、14)日本医療薬学会顧問：岩月会長。

(3) 外部会合等出席者の件

以下のとおりとされた。1)中道改革連合・公明党・立憲民主党合同厚生労働部会「健康保険法等の一部を改正する法律案」に関するヒアリング（4月8日・衆議院第1議員会館）：豊見・山田（武）両常務理事、2)日本保険薬局協会定時総会懇親会（5月20日・都内）：岩月会長及び森・渡邊・原口各副会長、3)第18回名城大学薬学部同窓交流会（5月31日・名古屋市）：岩月会長、4)令和8年度第1回日薬関東ブロック協議会（5月31日・神奈川県箱根町）：長津常務理事及び池田・小黒両理事、5)第41回世界獣医師会大会（WVAC）開会式（4月21日・都内）：岩月会長、6)一般用医薬品セルフメディケーション振興財団「第21回一般用医薬品セルフメディケーションシンポジウム」懇親会（10月9日・都内）：岩月会長、7)アジア薬剤師会連合（FAPA）バーチャル・タウンホール（4月17日・ウェブ）：豊見常務理事、8)健康ハートの日実行委員会「健康ハートの日2026 薬局・ドラッグストア・病院企画「血圧測ろうぜ！」」プレス発表会（5月26日・日本チェーンドラッグストア協会本部）：岩月会長、9)医療用医薬品製造販売業公正取引協議会・第42回通常総会懇

親会（5月29日・都内）：岩月会長、10)令和8年度第1回東北6県薬剤師会会長・日本薬剤師会代議員合同会議（5月10日・山形市）：山田（卓）常務理事。

(4) 本会后援名義等使用の件

以下の件が了承された。1)厚生労働省・令和8年度「ダメ。ゼッタイ。」普及運動（6月20日～7月19日）、2)麻薬・覚せい剤乱用防止センター・2026年度「ダメ。ゼッタイ。」国連支援募金運動（6月20日～7月19日）の協賛、3)第80回関東医歯薬獣医科大学対抗陸上競技大会（MDPV）（6月6日・都内）への後援及び寄付、4)日本リウマチ財団・令和8年度「リウマチ月間」（6月）、5)日本チェーンドラッグストア協会「第26回JAPANドラッグストアショー」（7月31日～8月2日・都内）、6)第21回医療の質・安全学会学術集会（11月7～8日・姫路市）、7)第100回日本産業衛生学会（5月26～29日・北九州市）、8)厚生労働省・令和8年度「愛の血液助け合い運動」（7月）。

(5) 講師等派遣の件

以下のとおりとされた。1)広島国際大学薬学部開講科目「地域保健・公衆衛生・栄養管理・保健行政」（4月23日・同学）：豊見常務理事、2)広島大学薬学部・自由選択科目「プロフェッショナルリズムを学ぶ」（7月23日・同学）：豊見常務理事、3)大阪府薬剤師会「緊急避妊薬のOTC販売に関する研修会」「調査事業における販売実務留意事項について」（6月6日・同会及びウェブ）：長津常務理事、4)第85回九州山口薬学大会シンポジウム5「地域の未来を創る“ヘルスケア”デザイナーとしての薬剤師の挑戦」（7月19日・宮崎市）シンポジスト：村杉常務理事、5)第288回医療・医薬品情報研究会（7月16日・都内）：森副会長、6)医療薬学フォーラム2026／第34回クリニカルファーマシーシンポジウム（6月21日・名古屋市）シンポジスト：村杉常務理事。

(6) 取材依頼の件

以下のとおりとされた。1)ドラビズ on-line「JPALSの現状と展望について」：山田（武）常務理事。

(7) 編集依頼の件

出版社より依頼のある以下の書籍の編集が了承された。じほう「保険調剤Q&A令和8年版」。

(8) 監修依頼の件

出版社より依頼のある以下の書籍の監修が了承された。じほう「保険薬局Q&A令和8年版」。

2. 協議事項

(1) 中道改革連合・公明党・立憲民主党合同厚生労働部会「健康保険法等の一部を改正する法律案」に関するヒアリングの件

4月8日に開催される標記ヒアリングに、本会が提出する資料が確認された。本会

は、同法案に「OTC 医薬品との代替性が特に高い薬剤を用いた療養等について、薬剤費の一部を保険給付外とする一部保険外療養を創設する」旨が盛り込まれていることについて、「施行にあたっては、患者に必要な医療、薬物療法が確実に提供され続けることが不可欠である。混乱やトラブルが生じないように、国による国民への丁寧な周知が必要である」ことを主張し、1) 必要な医療・受診の確保、2) 医療現場が混乱しない仕組み、3) 国、保険者等による国民への周知、4) 医療機関・薬局への支援について、本会の考えを説明する。

(2) 薬価基準収載品目の件

長津常務理事より、薬価基準検討会を本日（4月7日）午前中に開催し、新医薬品の内用薬4成分8品目、注射薬1成分4品目、再生医療等製品4成分4品目について、厚生労働省担当官より説明を受け審議した。今回の品目は、令和7年6月、同年10月及び令和8年1～3月までに、薬事審議会医薬品第一部会、同医薬品第二部会及び同再生医療等製品・生物由来技術部会で審議されたものである。検討会では、薬価収載することが適当であるとされたと説明され、協議の結果、薬価収載することが適当である旨回答することとされた。

(3) 日薬誌企画の件

川名常務理事より、令和8年6月号以降の企画案について諮られ、7月号及び9月号の「視点」は外部団体に、8月号は社会保険診療報酬支払基金理事長に依頼することとされた。また、6月号の「今月の情報」は「調剤の概念について」、7月号は「地域医療構想策定ガイドライン等について」執筆することとされた（演題と順番はいずれも仮）。

(4) ラジオ NIKKEI 「薬学の時間」 日薬アワー企画の件

川名常務理事より、令和8年5月以降の企画案について諮られ、5月は「緊急避妊薬の OTC 化について」（長津常務理事）、6月は「JPALS の改定について」（山田（武）常務理事）、8月は「地域医療構想策定ガイドライン等について」（荻野副会長及び村杉常務理事）とすることとされた（演題と順番はいずれも仮）。

(5) 日薬ブロック会議に関する件

原口副会長より、本会は毎年度、本会会務等の周知とブロック内の情報及び意見交換を目的とした「ブロック会議」を、全国9ブロック（関東・東京、近畿・大阪は合同）で開催している。本年度は、本会の役員改選やブロック世話人の変更年にあたることから、開催時期を令和8年9～12月頃とし、都道府県薬剤師会等への案内は7月頃に案内することとしたいと諮られ、協議の結果、了承された。

(6) 令和9年度予算・税制改正等要望事項の件

渡邊副会長及び橋場常務理事を中心に、令和8年度要望事項等を基に意見が交わされ、新たな要望事項等について意見があれば申し出ることとされた。本件については引き続き協議し、5月中に要望書を取りまとめる。

(7) 第59回日薬学術大会「一般演題優秀賞審査委員会」委員（案）の件

山田（武）常務理事より、本会学術大会では、薬剤師の調査・研究活動への意識向上、並びに調査・研究内容のさらなる質の向上に資することを目的に、平成27年の第48回大会（鹿児島大会）より「ポスター優秀賞」を創設し、ポスター発表を対象とした「ポスター優秀賞」の選考・決定を行ってきた。創設から10年経過し、更なる研究発表の質向上及び大会の学術的な関心と熱意を喚起すべく、本年10月11～12日に開催する第59回大会（新潟大会）からは「口頭発表」も優秀賞の対象に追加し、全体で一括して「一般演題優秀賞」として選出することとした。このため、選考に当たって設置する「審査委員会」の委員（案）をこの程、決定した。委員は、1) 日薬担当役員2名、2) 開催県薬担当役員1名、3) 大学関係2名、4) 薬局関係4名、5) 病院関係2名、6) 次期開催県薬1名の12名としたいと諮られ、了承された。

(8) 第107回臨時総会における要望事項の件

原口副会長より、3月28～29日に開催した第107回臨時総会における主な要望事項等を事務局でまとめた。第108回定時総会（令和8年6月）までに対応する必要があると報告され、意見が交わされた。

(9) 第108回定時総会対応の件

原口副会長より、本年6月27～28日に開催する第108回定時総会に向けたスケジュール案等が示され、意見が交わされた。

(10) 令和8年度第1回理事会に関する件

原口副会長より、4月14日に開催する令和8年度第1回理事会の次第案が諮られ、協議の結果、了承された。

(11) 第60回日薬学術大会（福島大会）のメインテーマに関する件

標記の件について、前回（3月24日）に引き続き協議され、令和9年10月10日（日）～11日（月・祝）に郡山市で開催する第60回日薬学術大会（福島大会）のメインテーマは、主題「地域の未来を支える薬剤師」、副題「^{つな}絆がる、^{えが}描く、^{じつげん}実現する」とすることが了承された。

(12) その他

1) 調剤システム処方IF共有仕様（NSIPS）仕様書の改版に関する件

堀越常務理事より、NSIPS仕様書は令和6年9月に本会が策定したVer. 1.06.03が最新であるが、令和8年6月の診療報酬改定に対応するため、所要の改版を行うこととしたい。具体的には、「2. 処方箋情報部」に残薬確認対応指示の項目を新規追加、「5. 調剤録部」に特別の料金とその他報酬を新規追加等し、Ver. 1.07.01とする。改版にあたっては、保健医療福祉情報システム工業会（JAHIS）調剤システム委員会の協力を得て、機器連動等に支障が生じないように進めたいと説明され、改版（案）が諮られ、協議の結果、了承された。

2) 令和8年度学校薬剤師ブロック連絡会議に関する件

富永常務理事より、本会は平成27年度より、学校薬剤師事業等の周知とブロック内の情報共有及び意見交換等を目的とし、学校薬剤師活動の充実や諸問題の解決を図るため、標記ブロック会議を開催している。本年度もこれを継続し、1)全国9ブロック（合同開催やウェブ形式可）において原則各1回開催する、2)協議議題は「学校薬剤師を巡る文部科学省等からの最新情報の共有及び、各都道府県からの課題について」とする、3)各都道府県薬剤師会より会長とともに担当役員・委員等に参加いただく、4)本会からは担当役員のほか学校薬剤師部会幹事も参加することとしたいと説明され、協議の結果、了承された。

3) 職域部会幹事変更の件

上野専務理事より、行政薬剤師部会の幹事変更について諮られ、了承された。

4) 「ふあるみん」着ぐるみ利用規約等の一部改正の件

堀越常務理事より、本会では令和7年度より公式キャラクター「ふあるみん」の着ぐるみを活用した広報活動を展開している。都道府県薬剤師会より貸出依頼が複数寄せられていることから、本年2月3日に開催した本常務理事会では「利用規約」と「利用許諾申請書」を策定した上で貸出しを開始するとともに、2体目を制作することが了承された。同日の常務理事会では、「利用規約」と「利用許諾申請書」が了承されたが、今般、これらを一歩改正したい。具体的には、「利用規約」については、第11条（賠償責任等）を第11条（損害賠償）と第12条（使用責任）に改めたい。「利用許諾申請書」については、貸出運用の効率化を図るため、詳細（事業・イベント名、使用期間、使用場所等）を記載する項目を追加したいと説明され、改正案が諮られ、協議の結果、了承された。

II. 報告

1. 議事録

議題記載の議事録について、訂正等ある場合には事務局まで申し出ることとされた。

2. 諸通知

議題記載の諸通知の発簡が確認された。

3. 委員会等議事要旨

議題記載の議事要旨が確認された。

4. 報告事項

(1) 薬局・薬剤師の機能強化等に関する検討会について

川上副会長及び橋場常務理事より、3月30日に開催された標記検討会（座長：太田茂和歌山県立医科大学薬学部教授）の概要が報告された。当日は、1)離島・へき地での医薬品提供体制、2)調剤の一部外部委託について議論された。1)では、地域の状況に応じた対応策について意見が交わされた。橋場は「薬局がない地域では、公的・準公的施設を活用して、当該地域の近隣の薬局が一体的にサービス提供を

行うための薬局の分室（仮称）の設置を認める」ことを提案した。また、離島における医薬品配送については、「現行のドローンの運用において改善できる点がないかを検討する」よう求めた。さらに、処方箋に基づく一部の調剤を患者で実施可能とすることなども提案した。2)では、「外部委託が可能な調剤業務の範囲（一包化以外）」、「患者への事前説明の方法（署名の可否）」、「委託先の薬局の地理的要件（三次医療圏を原則）」が論点として示された。また、検討会ではこれらのほか、受託薬局から患者宅への処方薬の直送についても意見が交わされた。外部委託が可能な「特定調剤業務」については、令和9年5月までに施行される。

（2）医療機器の流通改善に関する懇談会について

長津常務理事より、3月30日に開催された標記懇談会（座長：三村優美子青山学院大学名誉教授）の概要が報告された。当日は、2024年4月からの働き方改革関連法施行によりトラックドライバーの時間外労働に上限規制等が適用された「物流2024年問題」等について議論された。日本医療機器テクノロジー協会（MTJAPAN）、米国医療機器・IVD工業会（AMDD）及び欧州ビジネス協会（EBC）から「医療機器流通における現状対応と課題」について、日本医療機器販売業協会（医器販協）から「物流2024年問題の影響」、「適正使用支援ガイドライン普及状況」及び「不適切な価格交渉慣行の改善」について意見陳述が行われ、物流2024年問題と価格交渉慣行の改善について意見が交わされた。長津は、いわゆる逆ザヤの解消を求めた。医療機器に係る2024年問題について、厚生労働省は「メーカー及び販売業者の取組みをより一層、推進するためには、医療機関・薬局の協力が必要・不可欠のため、医療機関及び薬局に対する物流2024年問題についての周知等が必要」としている。価格交渉慣行の改善については、「取引交渉を行う上で遵守すべき基本的な考え方を整理し、関係者に示すことを検討する」としている。

（3）薬事審議会 医薬品等安全対策部会安全対策調査会について

橋場常務理事より、3月25日に開催された標記調査会（調査会長：岡明埼玉県立小児医療センター病院長）の概要が報告された。当日は、炭酸リチウムの「使用上の注意」の改訂が了承された。「禁忌」の項から「妊婦又は妊娠している可能性のある女性」を削除し、「妊婦」の項に「妊婦又は妊娠している可能性のある女性に使用する場合には、治療上やむを得ないと判断される場合を除き、投与しないこと。」の注意喚起を記載する。今後、添付文書の改訂が行われる。また、サリドマイド関連製剤（サリドマイド、レナリドミド・ポマリドミド）の安全管理手順書の改訂方針が了承された。サリドマイド関連製剤は、医療機関内での受診、処方、薬剤交付等を前提としていたが、院外処方・訪問診療に係る対応が手順書に盛り込まれる。具体的には、特例として製造販売企業が設置する合同運営委員会で個別患者ごとの対応を検討する。手順書には、薬局の手続きが新たに規定される。このほか、レナリドミドに関しては、同剤を処方された男性患者の女性パートナーが妊娠した事例を受

け、安全管理手順が改訂される。また当日は、ポマリドミド後発品の承認申請に伴う今後の安全管理方策について説明された。

(4) 「薬剤師国家試験制度について新たな基本方針」について

岩月会長及び長津常務理事より、「薬学教育モデル・コア・カリキュラム」が改訂され令和6年度入学生から適用されたことなどを踏まえ、医道審議会薬剤師分科会薬剤師国家試験制度改善検討部会では令和7年3月から4回にわたり、薬剤師国家試験の改訂に関する基本的方向性等の検討を進めてきた。令和7年12月26日に開催された部会では、新たな「薬剤師国家試験のあり方に関する基本方針」が概ね了承され、本年3月25日に当該方針が正式に公表された。従来の基本方針との主な変更点は、1)試験科目を現在の7科目から、薬学教育モデル・コア・カリキュラム（令和4年度改訂版）に対応した5科目「社会と薬学」、「基礎薬学」、「医療薬学」、「衛生薬学」及び「臨床薬学」とする、2)薬剤師としての実践的能力をより適切に評価するため、各試験科目を組み合わせる「連問」及び「複合問題」では、組み合わせる科目に制限を設けないこととする、3)出題数は必須問題90問、一般問題（薬学理論問題）125問、一般問題（薬学実践問題）120問の計335問とし、複合問題を10問減らす一である。新たな基本方針は令和11年度実施の第115回薬剤師国家試験から適用されると報告された。

(5) その他

1) 日本スポーツフェアネス推進機構 公認スポーツファーマシスト認定制度 カリキュラム委員会について

田中常務理事より、3月25日に開催された標記委員会の概要が報告された。当日は、令和7年度の進行状況が報告された。令和7年度の認定者は13,383名（うち都道府県薬剤師会担当者236名）となる見込みである。また、令和8年度事業について議論された。令和8年度は、1)テキストの改訂、2)基礎講習動画の追加調整、3)ダウンロード資料の整備（スポーツ医科学分野）が予定されている。

2) 第111回薬剤師国家試験結果について

長津常務理事より、2月21～22日に実施された標記国家試験の合格発表が3月25日に行われた。採点にあたって考慮した「不適切問題」は3問あった。受験者数12,774名（男4,929名、女7,845名）中合格者は8,749名（男3,192名、女5,557名）で、合格率は68.49%（男64.76%、女70.83%）であった。このうち、6年制新卒者は、受験者7,781名（男2,785名、女4,996名）、合格者6,711名（男2,393名、女4,318名）で、合格率は86.25%であった。6年制既卒者の合格率は41.33%、その他の合格率は20.49%となっていると報告された。

3) 国際交流プログラム FAPA2026 派遣者の決定について

豊見常務理事より、本会はアジア薬剤師会連合（FAPA）への協力及び同大会への参加促進を図るとともに、本会会員の学術活動を支援することを目的として、

FAPA2023（台湾開催）より「国際交流プログラム」を実施している。同プログラムは、日薬学会大会のポスター最優秀賞受賞者のうちの希望者を対象に、FAPA大会の参加費と渡航費等を補助するものである。今般、2026年のFAPA大会（タイ開催）の派遣者が以下のとおり決定したと報告された。なお、派遣者にはFAPA大会終了後に報告書の提出を求めている。報告書は本常務理事会に提出し、本会ホームページに掲載する。

- ・鹿村恵明氏（2024年 日薬学会大会ポスター最優秀賞受賞者）
- ・横山敏紀氏（2025年 日薬学会大会ポスター最優秀賞受賞者）

4) 厚生労働省人事異動について

上野専務理事より、3月31日付及び4月1日付の厚生労働省人事異動について報告された。

5) 文部科学省人事異動について

長津常務理事より、4月1日付の文部科学省人事異動について報告された。

6) 令和8年度の日薬会議日程について

原口副会長より、令和8年度の本会会議日程が報告された。

7) 日薬事務局体制について

上野専務理事より、本会事務局組織及び各部課の主な担当事項が報告された。

8) 健康・医療・介護情報利活用検討会 医療等情報利活用ワーキンググループ 医療機関における運用に関する技術作業班について

田中常務理事より、3月18日に開催された標記作業班（班長：澤智博帝京大学医療情報システム研究センター教授）の概要が報告された。本作業班は、令和7年度に電子カルテ情報共有サービスの本格運用を目指すにあたり、医療機関における運用について検討するために設置されたものである。厚生労働省は令和7年2月よりモデル事業を実施しており、本作業班ではモデル事業で明らかになった運用上の課題について解決方法を検討している。当日は、1)アレルギー情報の共有、2)検査・感染症の単位について協議された。作業班は本年4月中の取りまとめを予定している。会議には舟越理事が出席した。

9) 医療安全全国共同行動理事会について

3月31日に開催された標記理事会の概要が書面報告された。当日は、令和8年度事業計画案及び収支予算案等が了承された。「医療安全全国フォーラム 2026」は令和8年9月13日に都内で開催される予定である。理事会には舟越理事が出席した。

10) 医療機関等における医療機器及び医療物資等の供給に関する情報提供窓口の設置について

上野専務理事より、中東情勢を踏まえ、厚生労働省が本日（4月7日）、医療機関や薬局から医薬品、医療機器及び医療物資等の供給状況に関する情報を受け付け

る窓口を設置したことが報告された。常務理事会では、薬局における石油由来製品等の供給状況について意見が交わされた。

以 上